**卓越大学院プログラム申請書（平成３２年度）**

提出日　　　　年　　　月　　　日

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 申  請  者 | フリガナ  氏 名 | 印 | | 学籍番号  (学外からの応募者は記入不要) | |  |
| 所属・学年 |  | | 現指導教員名 | |  |
| 大学院で希望する指導教員名 | |  |
| 現 住 所 | 〒 | | | | |
| 電　 話 | （　　　）　　　　－  携帯電話など面接時の連絡の取れるもの | e-mail | |  | |

|  |  |
| --- | --- |
| **申　請　理　由**  本欄には、本プログラムで身につけたい能力、将来目指している研究分野、研究内容、キャリアパスの構想について、冒頭にその要旨を記述した上で、次の点について、適宜図表を用いて具体的かつ明確に記述してください。   1. これまでの研究内容と研究成果、学会発表・論文・コンテスト受賞等の状況，申請を希望するに至った理由 2. 将来関わろうとしている研究開発分野や組織(国内外の大学・研究機関・企業等)と、その理由 3. 修了（学位取得）までに、自己の能力として何をどのレベルで身につけたいのかと、修了後のプラン | |
| ☛要旨☚ | |
| ＜留意事項＞  ◆本書類はパソコンで作成して構いません。    ◆本書類に記載した内容に基づいて、面接ではプレゼンテーション（発表時間：約１０分）をしていただきます。    ◆①の研究内容および成果については、分野の異なる人にもわかりやすく簡潔に説明してください。  ◆本プログラムでは、「材料科学」と「電力工学」（具体的には制御工学とパワーエレクトロニクス）をコアとしたすべての産業界の根幹をなす技術（ルートテクノロジー）を「情報工学」の素養に基づき革新する卓越した人材の育成を目指しています。大学院で希望する本学の指導教員と相談の上、②の希望する研究開発分野やテーマが「材料科学」、「電力工学」、「情報工学」とどのように関連するのかを説明してください。  （提出時には青色文字の部分は削除ください） | |
| 申請理由（続き） |
|  |

|  |  |
| --- | --- |
| 受付番号 |  |

**卓越大学院プログラム推薦書（平成３２年度）**

申請者 氏名

指導教員 所属・氏名　　　　　　　　　　　　 　印

|  |
| --- |
| 指導教員の推薦  以下の内容について客観的に評価して下さい。  ①応募者の能力、適性　　　　　　　②国内外の大学・研究機関・企業等との連携の可能性と意欲  ③日本学術振興会のDC1取得の可能性 |
| 高等専門学校専攻科修了見込者推薦推薦入試への出願者については、技術科学イノベーション専攻入試の出願書類にも推薦書が含まれておりますので、この欄には上欄の①～③に関連して追記すべき事項があれば簡潔にご記入ください。ただし、下欄のチェック項目（ □ 5%以内、□10%以内、□20%以内 ）については必ずご記入ください（提出時には青色文字の部分は削除ください）。 |
| ※本プログラムでは、DC1の獲得を目標としています。 |
| ・応募者は、過去５年間で指導した学生の、□ 5%以内、□10%以内、□20%以内  該当する項目にレ点を付けてください |

※推薦書は、指導教員が記入後、封筒に厳封し、学生募集要項に記載の提出先へ提出してください。

　なお、学内から応募の場合は4年次の指導教員、学外から応募の場合は現指導教員の推薦を得ること。